

英語 九州大学 全学部

<全体分析>

試験時間 120分

解答形式

〔1〕問2・3・4, 〔2〕問1・2, 〔3〕問1・2・4, 〔4〕, 〔5〕が記述式。それ以外はすべて客観式。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

出題の特徴や昨年との変更点

〔1〕～〔3〕が長文総合問題, 〔4〕・〔5〕が自由英作文, という構成。昨年まで出題されていた「立場選択を求める形式」が2023年度まで出題されていた「図表説明を求める形式」へと変わった。英文読解力と英語表現力を記述式中心で問うという本格的な出題傾向に変化はない。

その他トピックス

長文問題 130 点, 英作文 70 点の配点は昨年と同様。

〔3〕で, 英語で要約させる形式の設問が出題された。

昨年は1問しか出題されなかった和訳問題が, 4問出題された。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
〔1〕	読解総合 (40点)	視覚がもたらす 驚くべき体験	問3は解答をまとめるのに苦労する。 526 words	やや難
〔2〕	読解総合 (45点)	イルカのコミュニ ケーション	問2の(3)は解答にまとめるべき箇所が複数の段落に またがっている。 501 words	標準
〔3〕	読解総合 (45点)	記憶における「協 同抑制」という現象	問3の(ウ)は難問。問4は英語で指定の語数内にまと めるのに苦労する。 395 words	やや難
〔4〕	英作文 (40点)	優れた教師に求 められる3つの 能力	書きやすいテーマに思えるが, 3つの項目を重複させ ずに記述するのが難しい。	標準
〔5〕	英作文 (30点)	大学スタッフの 通勤手段の変化	車の利用が減少し, 自転車の利用が増加したことを中 心に記述する。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- ・本番の試験では短時間で大量の問題を解かなければならない。そのためには日頃から時間を意識して学習することが大切。秋以降は制限時間を設定して問題演習に取り組み, 少しでも処理速度をアップするという意識をもつこと。
- ・英語を「読む」「書く」際には語句の知識がものを言う。豊富な語彙力をつけるべく, 単語や熟語の学習を怠ってはいけない。